

第2次高砂市商業活性化基本計画 (令和7年度実施計画達成状況)

令和8年4月

高 砂 市

高砂市商業活性化基本計画実施計画の表示について

- 取組内容について、実施団体が事業に基づき、取組内容を記載しています。
- 達成状況について、実施団体が取組内容における達成状況を記載しています。
- 自己評価について、取組内容をどれだけ実施できたか、実施団体が目標達成度を自己評価しています。また、「評価」を何故そのようにしたかの理由を記載しています。

目標達成度・・・S 目標以上に実施、目標以上の効果を上げ実施
A 目標どおり実施
B 一部目標未達成、目標以下の効果で実施
C 大部分目標未達成

○今後の方向性について、達成状況及び自己評価に基づき今後の方向性を以下により記載しています。また、「今後の方向性」を何故そのようにしたかの理由を記載しています。

引き続き実施・・・・・・・・・・継続
事業内容を充実・・・・・・・・・・拡充
事業内容を縮小・・・・・・・・・・縮小
事業を廃止・・・・・・・・・・廃止
新規事業・・・・・・・・・・新規

○第三者評価について、第三者による事業実施における評価を記載しています。

目標達成状況

自己評価	事業総数			重点項目事業			第三者評価	事業総数		
目標達成度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標達成度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
S	2	4	3	2	1	2	S	0	2	2
A	56	56	53	21	25	23	A	13	14	11
B	40	49	60	11	12	14	B	13	10	16
C	26	15	8	6	2	1	C	6	6	3
計	124	124	124	40	40	40	計	32	32	32

重点項目事業・・・各事業のうち特に重点的に取り組む事業事業名の頭に「●」を付記したもの

年度別総括評価表

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総括評価	コロナ禍により実施できなかった項目も多々見受けられた。 実施主体ごとに着手できた、できなかったと言ったバラツキが見受けられた。	コロナ禍も規制緩和の方向に向かっており活動が少しではあるが進展したと思われる。 ただ、前年同様の取り組み内容も見受けられた。	コロナ禍の影響も薄れ、実績が見受けられるようになった。 ただ、実績ある項目、無い項目が毎年同じ様にも思える。	令和5年度・令和6年度の推移をみると取り組みが進展している傾向にあり評価できる。	県立大との連携により新たな成果が見受けられ評価できる。 ただ、イベント関係では成果が有る一方、高齢者向け対策、新たな生活様式への対応などが遅れており成果の偏りが見受けられる。	
課題	コロナ禍による計画進捗への影響も大きかったため、次年度実施項目についての修正、もしくは重点項目の絞り込みなど効率的実施が求められるのではないか。	マンネリ化傾向も懸念されるため取組内容の見直しが必要と考える。 ポストコロナを迎え、課題の整理が必要と考える。	項目ごと時系列で評価を見る必要がある。	事業により取組んだ団体、取組めなかった団体がはっきり分かれている項目が見受けられる。足並みを揃えた活動が必要ではないかと考える。 また、2年連続取組めていない項目、目標未達に転じた項目は重点的に進める必要がある。	成果の偏りを今後どう対処するのか。目標の重点化が必要と考える。 あきんどゼミナールは各団体共通して成果が見受けられることから、今後は団体ごとの行動目標設定も望まれるが、一点集中、共通目標の設定も必要と思われる。	